

平成24年度
実施事業

事務事業名	戦没者追悼式関係経費
-------	------------

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	9	
施策	9	
小分類	9	
主要な施策	9	
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 46 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	戦没者の霊を慰め平和を祈念する。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	国や北海道が行なっている戦没者追悼式に準じて、戦没者遺族をはじめ関係者の参列のもと、市が式典を実施し、本市出身の戦没者の霊を慰め追悼し平和を祈念する。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	二度と惨禍の起こることのないような平和な社会を維持する。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	410	462	470	470	470
事業費 合計			410	462	470	470	470

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	①	人	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	98	78			
	②	目標値						
		実績値						

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
戦没者追悼式に参加する人の減少	式典の規模の縮小や、会場の変更を検討する。 戦没者遺族に戦没者追悼式についてのアンケート調査を行い、今後の式典等のあり方を検討する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 戦没者の霊を慰め追悼し、平和を誓う重要な行事であり、国や道をはじめ全国の市町村においても実施しており、妥当性は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 戦没者遺族の高齢化が進んでおり、参加者が減少傾向にあるが、戦没者の追悼と平和を誓う行事を開催する必要性は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 式典の規模や会場の見直しを検討したが、会場を市民会館大ホールから2階の中ホールへ移し祭壇等を縮小した場合でも、花等の運搬には1階よりも経費が高むことがわかり、現状では経費を削減する事は難しい。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 一般市民の参加を呼びかけるとともに、平和を祈念する行事を同時開催することにより、成果を向上させる事ができる。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

改善	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	戦没者遺族へのアンケート結果から、追悼式参加への希望者は多いが、遺族の高齢化等で実現できない遺族が増加している現状もある。 今後は、式典の規模の縮小や会場を変更するとともに、式典を中止し慰霊碑の建立や、平和展との合同開催等多方面での検討が必要と思われる。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	事業開始から40年を経過し、年々参加者が減少している中、段階的な縮小・廃止を含め今後の事業の在り方を検討すること。
-----------	----	---

③総合的な評価（当該事務事業の方向性） 《Action》

改善	備考	事業開始から40年を経過し、年々参加者が減少している中、段階的な縮小・廃止を含め今後の事業の在り方を検討すること。
-----------	----	---

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）